

県内スポーツ コラムを配信

富山のNPO法人

富山市のNPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ」(佐伯仁史理事長)が、スポーツ文化の普及を目指した有料サービス「すばまぐ@富山」を6月1日から始める。主に県内スポーツに関するコラムをメール配信するほか、インターネットを通じて会員同士が交流する「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」(SNS)を運営し、スポーツ愛好者同士の交流促進を図りたい考えだ。

同法人によると、コラムの配信サービスは、「県内スポーツ事情」や「サッカーの本場を歩く」などといった四つのテーマごとに、プロスポーツの経営者らに執筆を依頼。毎週1回、会員にメールマガジンとして配信する。サービス開始後には、テーマ数を増やす予

有料サービス 来月1日開始

定だ。

佐伯理事長は、「試合速報だけでは分からない、幅広い情報を発信して、スポーツへの興味を深めたい」と狙いを語る。

また、メール会員が多数集まった後にSNSのサービスを始め、会員同士で意

多彩なテーマを予定している。会員によるテーマ別サイトの立ち上げも出来るようにする。

佐伯理事長は「スポーツを愛する県内の老若男女が、気軽に情報を交換し合える場に成長させたい」と話している。

メールマガジンで

見交換や情報発信が出来るようするほか、コラムのバックナンバーを読めるようにする。

メールマガジンには、スポーツ大会の開催予定や試合観戦ツアーの告知のほか、スポーツ中のけがの治療を施す病院の紹介など、

登録は有料で、会費は6か月(18000円)か12か月(33000円)。同法人のサイト(<http://toyama-s.c.typepad.jp/>)から登録できる。

問い合わせは佐伯理事長(090・5176・0075)。